



きょうだいへの親の愛情は同じか？



朝夕、涼しくなり過ごしやすくなりました。我が家の中にはニラの花が咲き、ミツバチが忙しそうに蜜を集めています。10月からは行事が目白押しです。家族でおでかけされる方も多いでしょう。さて、今回は「きょうだい」について考えます。

私には二人の娘がいます。「娘たちへの愛情は同じだった？」と自分に聞いてみました。

二人の娘は既に成人し家から出てしまっていますので「母さん、僕はね、長女が顔をみせないと右手が震えだし、次女の場合は左手が震えだすんだ」と妻に話すことがあります。つまり、「娘と会いたい中毒」です。要はいつまでたっても娘はかわいいので、一緒に食事したり、話をしたり、出かけたりすることは、この上ない喜びなのです。

ですから「愛情は同じだったか」と問われれば、「同じに決まっているやろ」と言いたくなります。ところが「平等に扱ってきたか」と問われるを考えこみます。

朝日新聞9月6日の朝刊に「きょうだいは平等に愛してはいけない」（新潟青陵大・碓井真史教授）と題した記事がありました。

「きょうだいの間で不平等を感じていることは当たり前です。たとえば上の子にとっては、生まれた時は一人っ子で、親の愛情もおもちゃも独り占め状態です。ところが、ある日突然、赤ちゃんがやってきて、親の愛情がそちらにも注がれてしまう。一方で下の子にとっては、生まれた瞬間から自分よりも大きな子どもが家にいて、親のひざもおもちゃも奪おうと邪魔てくる。きょうだいは生まれながらにして、戦う相手なのです」心理学的に言えば、「親の愛情の奪い合い」という状況だそうです。

わかりやすい話で言えば、最初に生まれた子どもの写真の数と後から生まれた子どもの写真の数には、明らかな差があります。子どもへの関りの姿勢は変わらなくても、物理的にも時間的にも二分される訳ですから当然と言えば当然かもしれません。親はきょうだいに同じ愛情を注いできたと思っていても、子ども自身が愛情に差があると感じたまま成人すると、そのことを生涯、引きずって生きていくことになります。

問題はそのことを親が察知して“愛情は同じだけれども、しかし、関わり方は違うんだ”ということをどう納得してもらうかだと思います。きょうだいといえども人格は異なるわけで、趣味嗜好も異なります。ですから、親にとって関りやすい子ども、関りにくい子どもがいて当然なのです。

碓井先生はさらに「きょうだいの中で障害があったり、問題を抱えていたりしている子、あるいはとても優秀な子がいたりすると、家族全体がその子を中心に動きがちです。」「すると、それ以外のきょうだいが『自分は愛されていないのでは』と不安を感じ、萎縮してしまったり、逆に怒りを爆発させたりといった行動に出てしまうことがあります。」と言われます。

そうだなと思いながら、私は個別対応かなと思っています。それぞれの性格の違いや考え方を尊重して、その子どもに寄り添い見守り続けているというメッセージを送り続けることが大切だと感じています。

ですから、いつもきょうだい一緒ではなく、それぞれに特別な時間を作り「右手と左手の震えを抑える」ことが大切なのだと思います。あ、それは私（父さん）の為でした。

そうではなくて、それぞれの子どもにとって必要な時間を特別に提供してあげることも大切なことだと思います。この秋、保育園の行事をどうぞうまく利用していただければと思います。

10月の行事予定

2日（木）11:00～幼児礼拝 10日・17日・24日・31日（金）10:20～幼児礼拝

4日（土）10:00～かめふれあい会

8日（水）10:00～運動あそびの日の予行…水筒の用意お願いします

13日（月）スポーツの日 休園

18日（土）第47回みどり野保育園幼児運動あそびの日 幼児対象
時間：9:30～11:30 場所：みどり野保育園隣の公園

◎幼児の普通保育はありません。※雨天時は 19日（日）に延期します

21日（火）避難訓練（不審者対応）

24日（金）15:00～ 秋の健康診断（内科検診：田中クリニック）

25日（土）12:00～14:00 尼崎教会こども食堂「マンナ」

27日（月）保育料・主食代・副食代等 口座振替日です。

28日（火）10:30～ 誕生会

29日（水）芋掘り遠足（いるか・くじら）※幼児お弁当

※雨天時は5歳児のみ 10月31日（金）に延期します。

2・3歳児親子遠足（芋ほり）



※詳しくは後日案内を配布します。雨天時：昆虫館

30日（木）9:45～ 難波公園にて5歳児あまっこ交流会（予備日 11月11日）

※9:30までの登園、またお休みする時も必ず、9:30までにお電話くださいますようよろしくお願いします。

10/20日(月)～29日(水)の期間で5歳児の個人懇談を行います。

一家庭 15分程度の予定で、お子さんの園での様子をお伝えし、お家の様子等もお伺いしながら、お家の方と一緒にお子さんの成長を見守っていきたいと思っています。就学にむけて各学校での健康診断の日もあり、何かとお忙しい時期とは存じますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

～「保護者と職員の会」だより～

幼児運動遊びの日には、全園児に参加賞として「タオル」を配ります。また、今年度の「秋祭り」も、11月8日（土）に尼崎教会にて共催で行います。時間は11:00～14:00です。

「秋祭り」に向けて景品を入れる為の紙袋、景品になる玩具や文具品、古着や使わなくなった玩具等も集めていきますのでご協力お願いいたします。なお、5歳児の親子には当日遊びのコーナーのお店番を交代でしていただきたいと思っていますので、重ねてご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

～10月27日(月) 口座振替のお知らせ～

保育（乳児）、延長保育・預り保育代、主食代、副食代、手数料、保育参加給食費、「保護者と職員の会」会費（1500円/半年分）、5歳児キャンプ参加費（5000円）を徴収いたします。

振替日までに登録口座に資金をご準備ください。

10月生まれのおともだち

おめでとう！



おおきくな～れ



昔から「暑さ寒さも彼岸まで」と言われていますが、朝晩の暑さからようやく解放され、吹く風に心地良さを感じられるようになってきましたね。とは言え、日中はまだまだ残暑厳しく、少し動くと汗ばむことが多いです。恒例の5歳児のキャンプは、楽しみにしていたこども達全員が無事参加することができました。曇り空の中の出発だったので雨を心配しましたが、『日頃の行いが良かったのでしょう』、予定通り川遊びをしたり、広い原っぱでは虫取りをしたり、石ころや木の枝で遊んだり、夜にはキャンプファイヤーをして、自然の中での遊びをそれぞれ思いっきり楽しめたようです。翌日の2時過ぎに元気な声で「ただいまー！」と帰ってきました。「キャンプどうだった？」の問い合わせに「楽しかった！」とのことでした。5歳児がいなくて淋しく思っていた3・4歳児もお昼寝後、嬉しそうに迎えていました。また、夏の水遊びを終えてからは、隣の公園に出ることも増えて元気に走り回っている姿が多くなってきました。パカポコ・天狗下駄に取り組んだり、竹馬に挑戦する5歳児の姿も見られるようになってきています。18日（土）の「運動あそびの日」を楽しみにしているのかと思います。さあどんな姿を見せてくれるのか私たちも楽しみです。しっかり応援したいと思っています。副園長 杉原圭美

